

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和5年1月31日東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂 槇 義 夫

1. 接合金物名称	座掘り補強座金
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	座金接合部の短期基準接合耐力(めり込み)を評価する。
4. 試験内容	座金のめり込み試験 なお、準拠する試験方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	<u>1) 接合金物</u> 「座掘り補強座金」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼*1 C;0.15%以下 Mn;0.80%以下 P;0.100%以下 S;0.050%以下 寸 法：(外形)90mm×90mm×22.2mm t=3.2mm ボルト用孔 1-φ13mm 表面処理：Z27 「丸座金φ58」 材 質：以下の強度を満たす炭素鋼*2 引張り強さ;400N/mm ² 以上 降伏点245N/mm ² 以上 寸 法：(外径)φ58mm (内径)φ13mm t=6mm 表面処理：素地 「両ねじボルト M12」1本 材 質：強度区分6.8を満足する炭素鋼(JIS B 1180) 寸 法：M12 L=400mm 表面処理：素地 「六角ナット M12」1個 材 質：強度区分6を満足する炭素鋼(JIS B 1181) 寸 法：M12 表面処理：素地 <u>2) 軸組材料</u> 横架材*3：105mm×105mm×900mm スギ無等級材 含水率：8.0～9.0% 全乾密度：0.38～0.43g/cm ³ *1 試験ではSGHCを使用した *2 試験ではSS400を使用した *3 試験体は横架材を想定しているが、横架材端部の接合で用いる場合は、横架材を柱材として読み替える
6. 試験条件等	試験体は実状にあわせた仕様とした。 横架材中心位置にボルト用孔(1-φ15mm)を明け、両ねじボルトM12により座金に応力を伝達するものとした。 試験体は、鋼製ブロックの上に設置し、加力点から木材両木口側150mmの位置で、M16ボルトナット及び鋼板(105mm×120mm×30mm)を用いて鉄骨架台と緊結した(トルク管理値：20N・m)。
7. 試験結果	短期基準接合耐力(めり込み) 35.7 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和4年12月19日、20日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。